

皇徳寺団地まちづくりニュース

第
6号

～これまでをふりかえり今後の取組みの進め方を話し合いました～

令和元年 10月 18日発行

市では、若者から高齢者まで多様な世代が暮らす活力ある団地づくりを目指して、30年度からの約3年間で、具体的な取組みについて検討を進めています。

今回は、9月11日に開催した第6回ワークショップの概要についてご紹介いたします。

第6回ワークショップ

日時：9月11日（水）19時～21時

場所：皇徳寺校区公民館

第6回ワークショップの流れ

第6回は、参加者全員でこれまでの活動のふりかえりを行ったあと、それぞれのテーマについて意見交換を行いました。

① これまでのおさらい

これまでのワークショップを振り返って、皇徳寺団地の魅力・課題や活性化に向けた取組みアイデア、まちづくりの目標について、おさらいしました。

② 意見交換

「これまでのおさらい」を踏まえ、団地の現状や課題、取組みの方向性や取組みの主体などについて意見交換をしました。

また、「はじめの一步」に向けた取組み状況について共有し、今後の進め方などについて話し合いました。

③ まとめ・講評

話し合いで出てきたキーワードを取り上げながら、まとめを行いました。



市事業の紹介（よかよか体操）



意見交換の様子

次回のお知らせ（※申し込みは不要です）

【第7回ワークショップ 団地活性化に向けた勉強会】

日時：11月14日（木）19時～21時 場所：宮川校区公民館

小山先生による取組み紹介や学生による皇徳寺団地の調査発表を行う予定です
皆様のご参加、ご意見お待ちしております！





※ワークショップとは・・・話し合いを通して、自由なコミュニケーションを行いながら、何かを作り上げていく手法の一つです

意見交換 ～自分たちでできる取組みを話し合おう！～

今回、高齢者に関する意見などがたくさん出ましたので、吹き出しにまとめています。

これまでのおさらい

①皇徳寺団地の魅力や課題

	魅力	課題
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> 人づきあい、交流の良さ 地域の見守りがいい 	<ul style="list-style-type: none"> 近所のつながりが少なくなった 一人暮らしの高齢者の生活不安 コミュニケーションの場が少ない 情報発信・宣伝の手段がない
交通の利便性	<ul style="list-style-type: none"> 高速道路が近く、便利 	<ul style="list-style-type: none"> バスの便が少なくなった 広木駅へのバス便が少ない 通勤・通学や買い物の利便性 朝夕に渋滞する
生活の利便性	<ul style="list-style-type: none"> スーパーの品ぞろえがいい 	<ul style="list-style-type: none"> 商店、飲食店が少ない 病院が少ない 集いの場所が少ない 派出所がない
まちなみ・住環境	<ul style="list-style-type: none"> 緑道や公園も含めた自然環境 小中学生の子育て・教育環境 歩道と道路が分かれていて、通学路が安全 景観がいい 	<ul style="list-style-type: none"> 空き家や公営住宅の空き室が多い 子育て世代が購入可能な住宅が少ない 坂が多い（高齢者にはきつい） 

今回の意見のまとめ

高齢化は進んできている

高齢化にどう対応するか

- ・高齢化率は約 14%だが、自分の周りは、3世帯に1世帯は高齢者がいる
- ・高齢者も住みやすい団地とするために高齢者の声を聞き、情報共有することが大切

元気な高齢者が多い

アクティブシニア

- ・高齢者は 65 歳からとされているが、65 歳でも元気な方が多い
- ・高齢者と呼ばれたくない人もいる
- ・65 歳で退職してからのほうが地域活動に参加しやすい
- ・高齢者を「助ける」「支える」ではなく、「一緒にやる」が大切



団地外からも人は来ている

団地内外の交流

- ・近くにはふれあいスポーツランドがあるが、団地内には人が来ない
- ・既に行われている高齢者の集まりもある

誰が中心に取り組むの？

“65 歳前後”がキーワード

- ・65 歳前後の元気な方の活躍を期待
- ・行政、町内会、コミュニティの連携が必要

②団地の目標・方向性

皇徳寺団地の開発コンセプト
= 人間尊重のまち

目標 1

コミュニティ活動の強化・地域の交流拠点づくりによる、
ともに支え合う暮らし

目標 2

生活を支えるサービスの充実
・安心安全の確保により、
生活の質を高める

目標 3

豊かな生活環境の活用・魅力の発信による、
自然と歩きたくなる暮らし

目標 4

生活スタイルにあわせた住み替え・サポートによる、
住みたい・住み続けたい団地

③取組みアイデア

地域でできる 取組み

- ・あいさつ運動
- ・朝の会を始める
(散歩や朝カフェ)
- ・集う場づくり
- ・誰でも使えるフリースペースを地域で運営
- ・住民同士の支え合いによるボランティア交通
- ・ブルーベリーロードを活用して、子どもと高齢者が交流
- ・小学校の登下校時のパトロール



④はじめの一歩の取組み

課題 (A 朝活)

- ・コミュニティや交流、地域づくりは重要だが、引っ張っていく人がいない
- ・自分の都合を優先してしまい、なかなか活動できない

A 朝活

(ラジオ体操・ウォーキング)



B 高齢者・子育て支援

(アンケート調査の実施)



C 生活の利便性

(バスの実態調査)



課題 (C 生活の利便性)

- ・まずは、なぜバスが減便されたのか理由を調べる
- ・バス会社は利益が出なければ運営できない

何のためにやるの？

まずは、自分のため

- ・「自分のため」が出発点
- ・自分たちの生活を充実させ、周りに広げる
- ・子育て世帯も巻き込んで取り組む



こんな場所がほしい！

集まる場所

- ・自然と集まれる場所
- ・ひとりでもふらっと立ち寄れる場所
- ・多世代で交流できる場所
- ・今ある集まりの場を探してみる

どうやって始めるの？

きっかけ・役割づくり

- ・仲間意識の作り方や活動を始める
きっかけが必要
- ・活動の中に役割を与える
- ・活躍の場づくり



住み続けたい団地とは？

住みよい環境

- ・自然と歩きたくなる
- ・団地での子育て支援



はじめの一歩の取組みについて

実際に取組みが始まったグループの取組み状況を共有し、課題や今後の進め方について意見交換を行いました。

B 高齢者・子育て支援（アンケート調査の実施）

【取組み状況】

子供から高齢者までが**集える場**をめざして、地域の人が普段どのように過ごしているか把握するアンケート案を作成した

【意見】

- ・世代別に聞く内容を変える
- ・自分がしたいこと・できることを問う設問を追加する

※今後は、実態把握のためのアンケート調査を行い、その意見も踏まえながらワークショップで高齢者・子育て支援について、さらに深掘りしていく予定です。

次回のプログラム（予定） ～団地活性化に向けた勉強会～

日時：11月14日（木）19時～21時

場所：宮川校区公民館

- ・右の活動例は、ワークショップを実施している3団地において、**参加者のアイデアで始まった活動**の一例を取り上げたものです。
- ・今回は、団地活性化に向けて、**3団地での実際の取組み**や全国での取組みをご紹介します。

皇徳寺団地が**大好きな方、取組みに関心のある方**のご参加をお待ちしています

伊敷団地での活動例

- ・高齢者の見守りを目的に空き部屋を活用したカフェ



西郷団地での活動例

- ・地域交流の拠点探しのためのまち歩き



皇徳寺団地での活動例

- ・住民交流の場づくりに向けたアンケート（企画中）



鹿児島市ホームページ 住宅団地の活性化に向けて



過去のまちづくりニュースや、次回のワークショップ開催予定などもご覧いただけます。



フェイスブック 鹿児島市 住宅団地ワークショップ



ワークショップに参加している大学生等によって運営されています。最新の話題をお届けしています。

- 鹿児島市 都市計画課（担当：井上、諏訪田、宮）
連絡先：099-216-1378 FAX：099-216-1398
メール：toshikeikaku@city.kagoshima.lg.jp
- ランドブレイン株式会社 鹿児島事務所（業務受託事業者）
連絡先：099-210-9091（担当：大脇、岩切）